

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【公開番号】特開2009-127025(P2009-127025A)

【公開日】平成21年6月11日 (2009.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2009-023

【出願番号】特願2007-306873(P2007-306873)

【国際特許分類】

C 0 8 G 63/13 (2006.01)

C 0 8 K 7/04 (2006.01)

C 0 8 L 67/03 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 63/13

C 0 8 K 7/04

C 0 8 L 67/03

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月2日 (2010.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

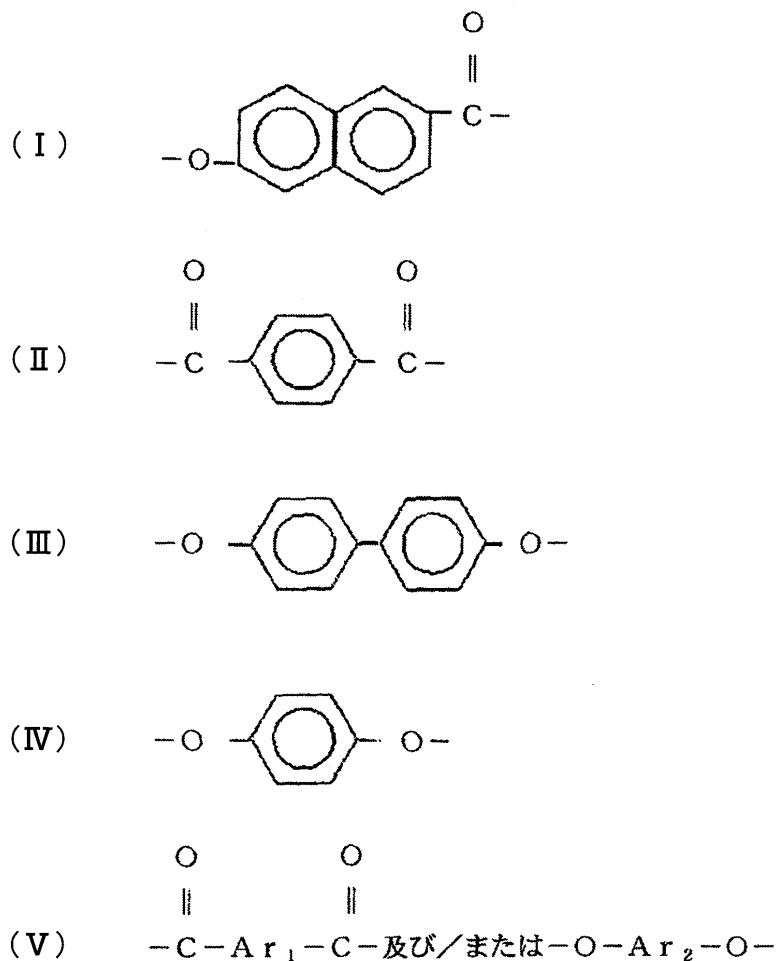
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

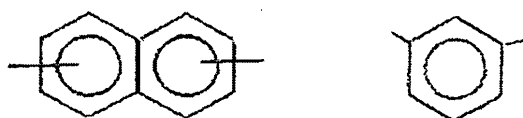
【請求項 1】

必須の構成成分として下記一般式 (I) , (II) , (III) , (IV) , (V) で表される構成単位を含み、全構成単位に対して (I) の構成単位が35～75モル%、(II) の構成単位が12.5～32.5モル%、(III) の構成単位が12.5～32.5モル%、(IV) の構成単位が0.5～8モル%、(V) の構成単位が0.5～6モル%であり、(IV) の構成単位と (V) の構成単位の合計が全構成単位に対して8モル%以下であることを特徴とする溶融時に光学的異方性を示す全芳香族ポリエステル。

【化 1】



Ar_1 は、



から選ばれた1種以上の基を示し、

Ar_2 は、



を示す。

【請求項 2】

全構成単位に対して (I) の構成単位が40～70モル%、(II) の構成単位が15～30モル%、(III) の構成単位が15～30モル%、(IV) の構成単位が1～6モル%である請求項1記載の全芳香族ポリエステル。

【請求項 3】

全構成単位に対して (I) の構成単位が45～65モル%、(II) の構成単位が17.5～27.5モル%、(III) の構成単位が17.5～27.5モル%、(IV) の構成単位が2～5モル%である請

求項 1 記載の全芳香族ポリエステル。

【請求項 4】

全芳香族ポリエステルの融点より10～40 高い温度で、剪断速度1000sec⁻¹における熔融粘度が 1×10^5 Pa・s 以下である請求項 1～3 の何れか 1 項記載の全芳香族ポリエステル。

【請求項 5】

融点が300～380 で、融点と軟化温度との差が55 以下である請求項 1～4 の何れか 1 項記載の全芳香族ポリエステル。

【請求項 6】

請求項 1～5 の何れか 1 項記載の全芳香族ポリエステル100重量部に対し無機又は有機充填剤を120重量部以下配合してなるポリエステル樹脂組成物。

【請求項 7】

無機充填剤が繊維状充填剤であり、その配合量が全芳香族ポリエステル100重量部に対し30～80重量部である請求項 6 記載のポリエステル樹脂組成物。

【請求項 8】

請求項 1～5 の何れか 1 項記載の全芳香族ポリエステルもしくは請求項 6 又は 7 記載のポリエステル樹脂組成物を成形したポリエステル成形品。

【請求項 9】

成形品が、リレースイッチ部品、ボビン、アクチュエータ、ノイズ低減フィルターケース又はOA機器の加熱定着ロールである請求項 8 記載のポリエステル成形品。

【請求項 10】

成形品が、ポリエステル繊維である請求項 8 記載のポリエステル成形品。

【請求項 11】

成形品が、ポリエステルフィルムである請求項 8 記載のポリエステル成形品。